

コストパフォーマンス抜群の高性能アクスルシャフト

ZERO POINT SHAFT

ZERO POINT SHAFTのスタンダードモデル。素材には、アクスルシャフトに最適とされるクロモリ鋼の一種に分類される機械構造用合金鋼SCM435H (ISO 683-1, ISO 683-11に準じる) を使用。ナノレベルの高精度な加工を施して製作されます。高い潤滑性と最適なクリアランス寸法を確保。摩擦係数は一般的なアクスルシャフトの約半分、驚異のローフリクションを誇るアクスルシャフトです。



ZERO POINT SHAFTの表面処理は三層の特殊メッキ。第一層の“無電解ニッケルメッキ”は寸法精度管理に優れるため、設計通りの正確な寸法管理が可能です。また、対象物全体に対して均一に処理されるので、一般的な電気メッキでは不可能な円筒の内側のメッキ処理が可能で。第二層の“黒クロームメッキ”は、表面にナノレベルの凹凸を作り、油分の保持性を向上させます。シックなブラックカラーも魅力です。第三層はZERO POINT SHAFTだけの特殊メッキ処理を使用し、今までにない高いレベルの耐久性を実現しています。

ZERO POINT SHAFT μ の表面には、先端技術である“無電解複合メッキ”を採用。第一層は精度管理に秀でた“無電解ニッケルメッキ”で処理。第二層に施される“無電解複合メッキ”とは、処理中に様々な素材の微粒子を加え、分散・共析させることでメッキ皮膜に任意の特性を持たせる技術です。ZERO POINT SHAFT μ は、強靭な耐摩耗性と優れた自己潤滑性を併せ持ち、オイルレス状態でも潤滑性を維持しまシンを守ります。表面硬度はメッキ処理の限界レベルといわれるピッカース硬度750-900HVを確保しています。また、処理の特性により表面の色合いにバラつきが生じるため、1本として同じものは存在しません。純いゴールドの輝きが、プレミアムパーツであることを主張します。



ZERO POINT SHAFT μ

1000分の1mm単位の管理製造を行うZERO POINT SHAFTであっても、製品誤差を完全に消すことはできません。逆説的に考えれば、何万本というシャフトを製造する中で、ごく稀に驚異的な高い精度を持つ個体が生まれることがあります。そうした厳選したシャフトを素材に使用。MotoGPやSBK、マン島TTなど世界のトップカテゴリーのレースで使用されている特殊技術を惜しみなく投入した、希少かつ最先端なプレミアムアクスルシャフト、それがZERO POINT SHAFT μ なのです。大量生産が不可能なため、納期にお時間をいただく場合があります。

最高性能を追求したアクスルシャフトの頂点

対応モデルは1,500車種超

ZERO POINT SHAFT μ とZERO POINT SHAFTの対応車種は1,500モデル超。ラインナップは随時増加中。対応車種に関する最新情報は、P.E.O. webサイトでご確認ください。フロント用のボルトヘッド形状は、純正品タイプの他にヘックスローブタイプが選択できるモデルもあります。

